

内藤鳴雪

1847(弘化4)年~1926(大正15)年
俳人 愛媛県松山出身
正岡子規に俳句を学び、子規門の長老として後進の指導にあたる
『鳴雪俳話』、『句集「鳴雪句集」など

1 内藤鳴雪・今泉桐舎比翼の句碑

大町一丁目(今泉女子専門学校) 昭和35年
今泉桐舎は郡山の俳句結社である群峰吟社の中心として活躍
『涼しきや一丁毎に仏かな』 鳴雪
『雉子鳴くやくつ松原小雨降る』 桐舎



安積良斎

1791(寛政3)年~1860(万延元)年
儒学者 郡山出身
江戸の昌平坂学問所の教授となり、明治維新の立役者たちを育てる
『良斎文略』、『良斎問話』など

2 「良斎先生誕生地」碑

清水台一丁目(安積国造神社)



3 郡山八幡祠之碑

清水台一丁目(安積国造神社) 文化14年
『春邦自古稱為神国 天神地祇 聖帝明王...』

4 安積良斎銅像

清水台一丁目(安積国造神社) 昭和28年

阿久津善治

1922(大正11)年~1986(昭和61)年
歌人 郡山出身
歌人「ケレン」の主筆者や朝日新聞ふくしま歌壇の運営者として多くの歌人を育てる
歌集『回転木馬』、『内聴現象』など

5 阿久津善治歌碑

清水台一丁目(安積国造神社) 平成2年
『ひとすぢの雲に蓋を被せしつ つ ためらひもなし時の流れは』



三条西季知

1811(文化8)年~1890(明治23)年
歌人 京都出身
三条実業と共に長州に落ち延びた七卿落ちの一人
で、明治天皇に近衛を指導
歌集『恵仁春之陰』

6 三条西季知歌碑

清水台一丁目(安積国造神社) 明治24年
『かげ高くさかゆるみればこれもなほ ちよ木の木におなじかり(か)]



石井研堂

1865(慶応元年)年~1943(昭和18)年
学者・編集者 郡山出身
歴史や文化を研究する他、雑誌を編集発行して少年の知的啓蒙活動を行う
『明治事物起源』、『雑誌「小国民」など

7 御代田豊慰堂塔

堂前町(如宝寺)
御代田豊は研堂の恩師
刻まれた文意は研堂の撰



8 キリシタン墓碑

堂前町(如宝寺) 元禄
石井研堂発見『郡山如宝寺の切支丹遺跡』

松尾芭蕉

1644(寛永21)年~1694(元禄7)年
俳人 伊賀上野(三重県)出身
蕉風俳諧を確立して俳聖と称され、日本各地を旅して紀行文や俳文を残す
『奥の細道』、『野ざらし紀行』など

9 芭蕉句碑

麓山一丁目(麓山公園) 明治36年
『雲折々人を休むる月見かな』

11 田植塚の碑

西ノ内一丁目(三島神社) 明治6年
江戸末期の女流俳人市原多代女の門下生が建てたもの
『兼となりて名の惜しまる桜かな』 亀遊
『雲雀見る床に笠の結ゆるみけり』 千月
『雪の庭ほろつきを当て清しけり』 花明

10 蟬塚碑

清水台二丁目(大慈寺) 寛政9年
佐々木露秀が富久山町堂坂の観音堂に建てたものを移設
『闇かさや岩にしみ入る蝉の声』



郡山文学マップ

2 市内中心部編

—文学碑・文学者ゆかりの地—



こおりやま文学の森資料館
〒963-8016 福島県郡山市豊田町3番5号
TEL.024-991-7610 FAX.024-991-7620

久米正雄

1891(明治24)年~1952(昭和27)年
小説家・劇作家・俳人 長野県上田出身
父の死によって少年時代を郡山で過ごす
安積中学校(現:安積高校)時代から三汀と号して俳句を始め、後に劇作家・小説家として活躍
句集『教訓』、『戯曲(牛乳屋の兄弟)』、『小説「破船」など

12 久米三汀句碑

堂前町(金浅小学校) 昭和41年
『春雪に古るは明治の出窓かな』

13 久米三汀句碑

豊田町(こおりやま文学の森資料館) 平成12年
『魚城移るにや寒月の波さざら』

14 久米三汀句碑

開成一丁目(開成山公園) 昭和28年
『松柏の風の底や返り花』

15 久米三汀歌碑

開成三丁目(開成小学校) 昭和55年
『古里の小学校の鐘の音をふと聞きより涙ながる』



宮本百合子

1899(明治32)年~1951(昭和26)年
小説家 東京出身
祖父は安積開拓の父と呼ばれた中條政恒
祖母の住む開成山を訪ね、戦国に苦む開拓民の生活を『貧しき人々の群』に描く
『倅子』、『播州平野』など

16 宮本百合子文学碑

開成一丁目(開成山公園) 昭和51年
『貧しき人々の群』の一節が刻まれている

17 中條政恒邸跡碑

開成二丁目 昭和41年
百合子が少女時代に夏休みを過ごした祖母の家
『政恒の孫宮本百合子は、その作品「貧しき人々の群」「播州平野」の舞台をこの地に探った。』



高山樗牛

1871(明治4)年~1902(明治35)年
思想家・評論家 山形県鶴岡出身
福富中学校(現:安積高校)第一期生
雑誌『太陽』の編集、日本主義の思想家、美術の評論家等で活躍
『溝口入道』、『美的生活を論ず』など

18 高山樗牛文学碑

開成五丁目(安積高校) 昭和59年
『人生は価値なり』



草野心平

1903(明治36)年~1988(昭和63)年
詩人 いわき市出身
『蛙の詩人』として知られ、詩誌『北方詩人』などで郡山の詩人との交流も多い
『蛙』、『第百階級』など

19 郡山高校校歌碑

大槻町(郡山高校)



中西悟堂

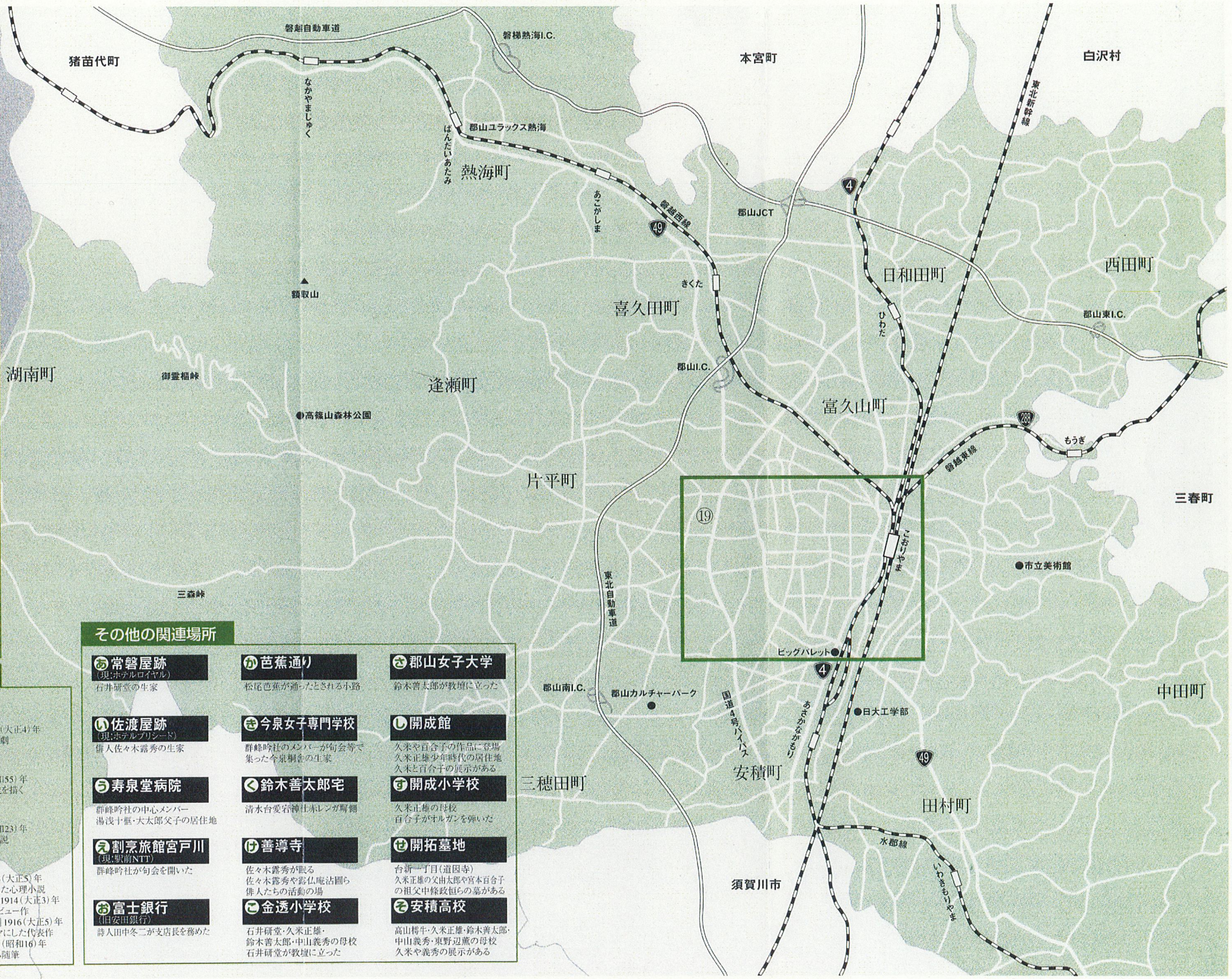
1895(明治28)年~1984(昭和59)年
歌人・詩人・野鳥研究家
自然をテーマにした短歌や詩を残すほか、日本野鳥の会を設立して自然保護に努める
歌集『安達太良』、『野鳥と共に』など

20 中西悟堂句碑

山崎(五百湖公園) 昭和28年
『三光鳥菜の花すけりて一文字に』



このパンフレットはエコマーク認定の再生紙を使用しております



猪苗代湖

その他の文学碑

21 吉田淡水句碑

富久山(如宝寺) 文政4年
「人や人の面見る秋の暮」

22 遊女の句碑

富山一丁目(龍山公園) 文政9年
「みづ(し)羅語出のほととせし」あやの
「巴の田も小松りんわが童子」

23 小林久敬句碑

愛宕町(愛宕神社) 昭和29年
「あらかし田毎まつ月の影」

24 無名詩人の碑

栗根五丁目(郡山商業高校)
ひめり部隊の「別れの曲」を
作詞した太田柳の碑

25 郡商青春歌碑 昭和57年

栗根五丁目(郡山商業高校)
丘灯至夫作詞

26 桜小学校校歌碑

山崎(桜小学校)
丘灯至夫作詞

27 国分虎風句碑

西ノ内一丁目(三島神社)
「幾千年松は移らした紅葉」
土部久夫

文学作品の舞台

ア 清水台

(野金局赤レンガ塀)
久米正雄「三浦製糸場主」1915(大正4)年
労働対法に題材を取った社会派劇

イ 陣屋

(駅前一丁目)
菅生清「子守学校」1980(昭和55)年
郡山に実在した子守専門の学校を描く

ウ 麓山公園

中山義秀「残照」1948(昭和23)年
麓山公園の建設をめぐる歴史小説

エ 開成山

久米 正雄「流行火車」1916(大正5)年
委野村を素材とした心理小説
「牛乳屋の兄弟」1914(大正3)年
久米の劇作家デビュー作
宮本百合子「貧しき人々の群」1916(大正5)年
安積開拓をテーマにした代表作
「村の三代」1941(昭和16)年
開拓村にまつわる随筆

その他の関連場所

1 常磐屋跡

(現:ホテルロイヤル)
石井研堂の生家

2 佐渡屋跡

(現:ホテルプリンス)
俳人佐々木露秀の生家

3 寿泉堂病院

群峰吟社の中心メンバー
湯浅十郎・大太郎父子の居住地

4 割烹旅館宮戸川

(現:駅前NTT)
群峰吟社が句会を開いた

5 富士銀行

(旧安田銀行)
詩人田中冬二が支店長を務めた

6 芭蕉通り

松尾芭蕉が通ったとされる小路

7 今泉女子専門学校

群峰吟社のメンバーが句会等で
集った今泉樹舎の生家

8 鈴木善太郎宅

清水台愛宕神社赤レンガ塀側

9 善導寺

佐々木露秀が眼る
佐々木露秀や露仏庵沾圃ら
俳人たちの活動の場

10 金透小学校

石井研堂・久米正雄・
鈴木善太郎・中山義秀の母校
石井研堂が教壇に立った

11 郡山女子大学

鈴木善太郎が教壇に立った

12 開成館

久米や百合子の作品に登場
久米正雄少年時代の居住地
久米と百合子の展示がある

13 開成小学校

久米正雄の母校
百合子がオルガンを弾いた

14 開拓墓地

台新一丁目(道因寺)
久米正雄の父由太郎や宮本百合子の
祖父中條政恒らの墓がある

15 安積高校

高山樗牛・久米正雄・鈴木善太郎・
中山義秀・東野辺薫の母校
久米や義秀の展示がある